

# CAMP クイックドロー使用時に発生した事故について

CAMP 社製クイックドロー使用時に発生した事故について、弊社に下記の情報が寄せられました。

事故は、ボルトルートを読みクライミング中、フォールした際にハンガー側カラビナからスリングが脱落したという内容のものでした。

今回の事故について、CAMP 社よりコメントが届きましたので、注意喚起の意味を含め、掲載いたします。

---

今回発生した事故は様々な要因により、ハンガー側カラビナが横向きになってしまったため発生したと推測されます。

## 写真①

ハンガーとカラビナの相性、クライマーの進行方向、ロープの流れ、クイックドローに使用されているスリングの長さなど、様々な要因により発生する現象です。カラビナは縦向き（正位置）に比べ、横向きでは強度が約 1/3 に低下します。

## 連続写真②③④

何らかの要因によりゲートがわずかに開いた瞬間に、スライドしたスリングによりゲートに横向きねじれ荷重がかかり、ゲートが変形し解放してしまった現象です。

この場合、表示された耐荷重よりも低い荷重でゲートが開き、スリングが脱落してしまう可能性があります。

クイックドローが正しくセットされていたとしても、クライマーの動きや、ルートの状況、岩の形状、ボルトハンガーの状態などによって、クイックドローが反転したり、カラビナが横向きになるなど、深刻なトラブルが発生する可能性もあります。

この様なことから、リスク低減のために下記の点に十分注意してください。

- クライマー、ビレイヤーとも、クイックドローのセッティング時は、カラビナが横向きになっていないか随時確認する。
- ゲートの向きは進行方向に対して適正な向きにセットする。

- クイックドロースリングはルートや周囲の岩の形状に合わせて適正な長さのものを選ぶ。
- 劣化したスリングは柔軟性を失い、ロープの流れにクイックドロースリングが追従しやすくなり、カラビナを不適切な向きにしてしまう可能性がある為、適時交換するなど注意する。
- クイックドロースリングが反転しやすいルートや箇所では安全環付カラビナを使用する。

セーフティファーストの原則を守り、クライミングを安全に楽しんでください。

### CAMP. SPA



写真1



写真2



写真3



写真4